

2025年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
31102	キャリアデザインⅠ CareerdesignⅠ	古橋 敬一			1	必修	1前期

科目の概要

講座の最終目標は、職業選択だけでなく、自分の人生を自分でデザインする能力を身につけることである。働く意識、役割などの知識を高め、外部講師を迎え、企業の業種・職種についても具体的に学ぶ。就職することを前提に、就職試験（筆記試験、面接試験）などへの準備を行う。後期に行う「キャリアデザインⅡ」への基礎を学ぶ。
知識・技能、社会常識をもち、自己研鑽し、社会に貢献できる人を育成していくための基礎を獲得する科目である。建学の精神、社会人基礎力、pisa型学力の修得と自らのキャリアデザイン(将来設計)の意識啓発をすることで、自らがどんなふうに働いて生きていくのかを考え、学んでいく能力を身につけることを目指している。この演習は、ディプロマポリシー（以下、DP）の①②③④⑥に相当する。これらを身に付けるために行う。

学修内容	到達目標
① 働くこと、社会人としての意識を理解する。 ② 時事問題を含め、社会の情勢を理解する。 ③ 筆記試験対策として、一般常識問題集の言語分野（漢字・語句の常識）の問題を理解する。 ④ 社会で実際に働いている人の話を聞き、自身のキャリアデザイン(将来設計)に役立てることができるよう、仕事や働くことについて理解する。	① 就職する意識を持ち、働くことについて意見を伝えることができる。（DP①④） ② 社会で起きていることと、職業との関わりを考えることができるようになる。（DP⑥） ③ 筆記試験対策として、一般常識問題集の言語分野（漢字・語句の常識）の問題が解けるようになる。（DP②） ④ 将来の自分について（仕事や生活も含め）、キャリアデザイン(将来設計)を考えることができるようになる。（DP③）

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例
前に踏み出す力	主体性	キャリアデザインの目的を理解し、自分の将来設計のために調べたことをまとめ、記述できる。
	働きかけ力	
	実行力	目標を達成するために、どのようなことをやらなければいけないかを理解できる。
考え抜く力	課題発見力	思い込みや憶測ではなく、事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることができる。
	計画力	
	創造力	「私ならこう考える」「このようにしたほうが良い」と発想する習慣がついている。
チームで働く力	発信力	相手が自分の話を正しく理解しているかどうか、相手の反応をみて状況に合わせて話すことができる。
	傾聴力	話を聞くときは固定観念や先入観を持たずに素直に聞いた。グループワークで、人の意見を確認し、さら自分の意見を述べるができる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	無断欠席、遅刻、居眠り、私語等、講義に支障をきたす行動はせず、授業が円滑に進むようにルールを守ることができた。レポートは期日を守って提出できている。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

テキスト：「一問一答！一般常識問題集」 著木村正男 / 高橋書店
職業適性検査費用、一般常識テスト費用・・・2000円（変更の可能性あり）
参考文献：適宜紹介していく。

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：キャリアデザインⅡ、キャリアデザインⅢ、キャリアデザインⅣ、学びとライフプランニング、無限の可能性開発講座
資格との関連：ビジネス実務士

学修上の助言	受講生とのルール
一般常識のテストでは、予習をし、基礎知識の獲得を習慣づけること。毎回の授業内容に関してのコメントが複数のパターンで課せられるため、学習した内容を整理しておくこと。学んだこと、考えたことを文章にまとめることは、自らのキャリアを考えるための基礎となるため、積極的に取り組むこと。	レポートの提出方法、提出期限をしっかりと守ること。期限を過ぎたレポートは減点し、過度な遅れは受け付けない。欠席、遅刻は社会人のルールとして認められない。時間管理ができるようにすること。（6回以上の欠席者は失格、3回の遅刻、早退で1回の欠席）

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標				各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①				
				②				
				③				
				④				
	平常評価	小テスト	30	①	✓			・授業内で行う、言語分野（漢字・語句の常識）の内容の小テストを5回行い、点数を平均して成績判定の1つとする。 ・pisa型学力における「知識の獲得」を目指す。 ・テスト範囲は、授業内でプリント配布をする。
				②				
				③	✓			
				④				
		レポート	60	①	✓			・講義、職業適性検査等の結果から自分の長所・短所を知り、社会でどのように生かしていくのかを考えて文章にまとめる。 ・また企業の声、卒業生の声など、その他授業内で課されたレポートの提出をする。 ・自分の見解をまとめ、振り返り今後、どのように生かしていくのかを、わかりやすく書かれている内容を評価する（誤字・脱字もないようにすること）。 ・pisa型学力における「知識の活用」を目指す。 ・提出日、提出方法は授業内で説明する（締め切り厳守）。
				②	✓			
				③				
				④	✓			
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	0	①				
				②				
				③				
				④				
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓			（主体性）欠席、遅刻をせずに、自らのキャリアを考えていくうえで、知識などを深める姿勢や行動がみられること。 （実行力）卒業後のキャリア目標を立て、それに向けて努力すること。 （課題発見力）自らのキャリアデザインを考えるうえで、この授業の必要性を理解できること。 （創造力）自分ならどうすると、自分に置き換えて考えることができること。 （発信力）周りに自分の考え・意見を状況に合わせて伝えることができること。 （傾聴力）社会人の話や先輩の話を聞いて、疑問に思う点やさらに深く知りたい点などを質問し、理解することができること。 （規律性）受講態度（欠席・遅刻・学習意欲欠如）や課題の未提出など、決められた約束を守ることができること。	
			②	✓				
			③	✓				
			④	✓				
総合評価割合			100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
①一般常識テストで毎回高得点を取得することができる。 ②過去の自分を振り返り、他者に理解してもらえる表現を使って書き表すことができる。 ③与えられた課題を期日までに行い、誤字脱字なく、他者が理解しやすいレポートを作成し提出できる。 ④「企業の方の声」、「卒業生の声」の内容をよく理解し、今後の生活にどのように活かしていくのかを自分の言葉でまとめることができる。 ⑤授業の最初と最後の挨拶や受け答え等で、模範となる対応ができると共に、前向きな姿勢で授業に臨んでいる。 S（秀）＝①＋②＋③＋④＋⑤ A（優）＝①～⑤のうち3項目以上できる。	①一般常識テストで平均点以上取得できたテストが全体回数の7割以上ある。 ②過去の自分を振り返り、書き表すことができる。 ③与えられた課題を期日までに行い、指定された方法で提出することができる。 ④「企業の方の声」、「卒業生の声」の内容を理解し、まとめることができる。 ⑤授業の最初と最後の挨拶をしっかりと声を出して行い、授業に対して前向きな姿勢で取り組もうと努力している。 B（良）＝①＋②＋③＋④＋⑤ C（可）＝①～⑤のうち3項目以上できる。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	キャリアデザインとは何かを考える。 全15回の授業の全体概要を把握する。	キャリアデザインの意義や必要性について講義し、グループワークを通して、自分達の考えを深める。また、全15回授業の流れを解説し、学習のポイントを示す。 ・パソコンを使用して、授業コメントを書いて提出する。	「キャリアデザイン」の意味を理解し、自分なりの意見を考えることができる。	(予習) シラバスを読み、「キャリアデザイン」の意義や必要性について調べ、考えておく。また、15回全授業の概要を把握しておく (復習) 周りの人のキャリアデザインについての意見を聞き、まとめる。キャリアデザインについて、自身の考えをまとめる。全15回授業の学習ポイントを振り返る。	90	主体性 課題発見力
2	働くとは何かを考える ①特に『仕事から得られる力とは？』というテーマについて学習し、自分達なりの考えをまとめる。	『仕事から得られる力とは？』というテーマで講義し、グループワークを通して、自分たちなりの考えを深めていく。 ・チームで話し合ったことをパソコンを使ってまとめる。	仕事をするにはどのような力が必要なのか、アルバイトと社員の違いなどを理解する。	(予習) 一般常識テスト範囲の勉強をする。 前週の講義をもとに、働くにはどのような力が必要なのか考える。 (復習) 授業内容を踏まえ、たどり着いた自分の今の考えをまとめる。	90	主体性 実行力 発信力
3	リクナビ、マイナビ、キャリアス等の登録 30分 働くとは何かを考える ②『何のために働くのか？』	就職情報を得るためのウェブサイトに登録をグループワークで実施する。また『何のために働くのか』について講義し、グループワークを通して、自分たちなりの考えを深めていく。 ・パソコンとスマートフォンを使用して、登録した就活サイトの検索の仕方を学ぶ	就活情報サイトへの登録完了。「働くこと」の意味がそれぞれ個々に違うことを理解する。	(予習) 就活情報サイトを閲覧しておく。また個人携帯を使用する予定であるため、低速モードや充電切れ等で進行の妨げにならないように準備を整えておく。 「何のために働くのか」について調べ、自分なりの意見を洗い出しておく。 (復習) 授業内容を踏まえ、たどり着いた自分の今の考えをまとめる。	90	主体性 創造力 発信力
4	pisa型学力を理解し、一般常識問題集の学習の仕方を学ぶ。	pisa型学力と一般常識問題の関係について講義し、グループワークを通して一般常識問題の学習の仕方を考え、自分にあった学習方法を探求する。 ・話し合った内容をパソコンでまとめる	pisa型学力を自分なりに理解し、それを活用して一般常識問題集に取り組めるようになる。	(予習) pisa型学力とは何かをおさらいしておく。一般常識問題集をどのようにして学習するかを考えておく。 (復習) 授業で学んだことを活かして、一般常識テストの学習に励む。	90	主体性 傾聴力
5	企業が求める能力・資質・意識について「社会人基礎力」との関連で把握する。	企業が求める能力・資質・意識について「社会人基礎力」と合わせて就職課の担当者に講義していただき、グループワークを通して自分たちの考えを深める。 ・パソコンを使用してグループワークの内容をまとめる。	企業のニーズと自分たちの強みと弱みを意識するきっかけをつかむ。	(予習) 一般常識テストの学習に励む。 企業が学生に求める力について調べ、自分なりの考えを洗い出しておく。 (復習) 自分に足りない点や今後伸ばしたい点をリストアップする。	90	主体性 創造力 規律性
6	第1回一般常識テスト 自己分析の仕方について学び、自分を知りきっかけをつかむ。	小テストの実施。 自己分析の方法について講義し、ペアワークで自己分析を実施する。 ・自己分析しないようをパソコンでまとめる	自己理解を深めるために、他者からのアドバイスを重要であることを理解する。	(予習) 一般常識テストの学習に励む。 自己分析の方法について調べ、自分なりのやり方を考えてみる。 (復習) 自己分析ツールを使って、自己理解を深める。	90	主体性 創造力 発信力
7	第2回 一般常識テスト 業種と職種 業界・企業研究・インターンシップの重要性と、そのやり方について理解する。	就活サイトを運営するリクナビ・マイナビ等から外部講師を招き、業界・企業研究の具体的な方法について講義をいただき、グループワークを通して演習を行う。また、外部講師には、インターンシップについての情報提供もいただく予定をしている。 ・パソコンを使って、就職サイトの検索の仕方を学ぶ	業種と職種の違いについて理解できる。 業界・企業研究の手段の一つにインターンシップがあることを理解できる。	(予習) 一般常識テストの学習に励む。 自分が興味ある分野を考えてくる。 (復習) 業種と職種の違いを理解し、自分が興味ある分野について調べる。	90	主体性 創造力
8	第3回 一般常識テスト 職業適性検査 (50分)	小テストの実施。 職業適性検査の実施	自分の職業適性を客観的な評価より考える必要性が理解できる。	(予習) 一般常識テストの学習に励む。 職業にはどういった種類があるのか調べ、一つ興味のある業界を掘り下げて調べる。 (復習) 職業適性検査の結果を踏まえて、働くことについて考察する。	90	主体性 発信力 傾聴力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
9	企業の声① ゲスト講師より、実際の企業現場の声に学ぶ。また、自分たちで聞いてみたいことを質問し、就職活動のリアルを理解する。	ゲスト講師の講義に対し、グループワークを通して質問を考案し、全体で議論する。	企業の方から現場の声を聞き、求められる人材を理解する。	(予習) 一般常識テストの学習に励む。 話をしてくれる方の会社、業種を調べてくる。 (復習) 企業の方の話を聞いてまとめ、レポートを作成する。	90	主体性 傾聴力 規律性
10	企業の声② ゲスト講師より、実際の企業現場の声に学ぶ。また、自分たちで聞いてみたいことを質問し、就職活動のリアルを理解する。	ゲスト講師の講義に対し、グループワークを通して質問を考案し、全体で議論する。	企業の方から現場の声を聞き、求められる人材を理解する。	(予習) 一般常識テストの学習に励む。 話をしてくれる方の会社、業種を調べてくる。 (復習) 企業の方の話を聞いてまとめ、レポートを作成する。	90	主体性 傾聴力 規律性
11	一般常識試験(SPI)	演習	採用試験のSPIを体験し、自身の能力を客観視する。	(予習) 一般常識試験(SPI)の勉強をする。 (復習) SPIの問題を振り返り、どういったものであったか、できたところ、できないところをまとめる。	90	主体性 規律性
12	第4回 一般常識テスト 就職課の活用方法を知る 就職課の活用方法、特にキャリアカウンセリングのメリットについて理解する。	小テストの実施。 就職課を活用する方法やそのメリットについて解説し、キャリアカウンセリングの実際についても解説を実施する。 ・パソコンを使って、キャリアカウンセリングの予約方法を確認する	就職課の価値を理解し、訪問できるようになる。	(予習) 一般常識テストの学習に励む。 就職課について調べ、どんなメリットがあるのかを考えておく。 (復習) 就職課を訪問し、就職活動の準備を進める。	90	主体性 創造力 発信力
13	卒業生の声	卒業生のトークリレーを聞いて、グループワークを通して質問を考案し、全体でディスカッション	社会で活躍している先輩の話聞き、今後の就職活動を理解する。	(予習) 卒業生の企業について調べてくる。 (復習) 卒業生の話を聞いてまとめ、レポートを作成する。	90	主体性 傾聴力 規律性
14	インターンシップの体験談	インターンシップを体験した先輩の話を聞き、グループワークを通して質問を考案し、全体でディスカッション	インターンシップの重要性を理解する	(予習) 一般常識テストの学習に励む。 どのようなインターンシップがあるか調べておく。 (復習) 自分が興味のあるインターンシップを探して応募してみる。	90	主体性 創造力
15	前期総括と進路について	前期の講義を総括し、グループワークを通して質問を考案し、全体でディスカッション	「働くこと」「キャリアデザイン」について、改めて考えることができる。	(予習) 一般常識テストの学習に励む。 前期の講義を振り返っておく。 (復習) キャリアⅠを受講し、働くこと、キャリアデザイン、自身が行なうことを考え、目標設定し、行動計画についてまとめる。	90	主体性 課題発見力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力